

「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」の 取組状況と今後の予定について

1 趣旨・目的

2050 年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指すため、令和 3 年 6 月に設立した「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」*の令和 7 年度上期の取組状況と今後の予定について報告する。

*製造・流通・消費に関する企業・団体・市町等で構成

2 現状・背景

- GSHIP のワーキンググループ (①プラスチック使用量削減、②流出防止、③清掃回収、④情報発信) において、7 月に第 1 回ワーキンググループを開催し、9 月 26 日には、会員同士の連携・協働した取組のマッチングを図る「オンラインプロジェクト提案会」を開催予定
- 参画会員数は、設立当初 (R3. 6) の 20 社・団体から、146 社・団体 (R7. 9. 22 時点) に拡大
※参考：R7. 4 月以降 11 会員の増加

3 概要

(1) プラスチック使用量削減の取組

ア 社会実装化促進事業

○ 趣旨

ワンウェイプラスチックの使用量削減に資するプラスチック代替製品等 (紙等への素材転換など) の社会実装を促進するため、今年度から新たに、宮島・宮島口をモデル地区として、飲食店及び宿泊施設を中心に、プラスチック代替製品等を導入する事業者の拡大と県民等の利用機会の創出を進めるとともに、情報発信により取組の認知拡大を図る。

(取組内容)

- ・プラスチック代替製品等を集中的に展開 (製品等を導入する飲食店などを支援)
- ・県内外への積極的な情報発信

○ 今後の予定

- ・通年の取組 (期間：R7. 9. 13～R8. 3. 31)

項目	内容
プラスチック代替製品等の導入	プラスチック代替製品への転換に参画意向を示した事業者に対して、生分解性樹脂などのプラスチック以外の素材で製造された飲料カップ、アメニティ (歯ブラシ、くし)、アルミボトル缶に、オリジナルデザインを施して提供
情報発信	・モデル地区内では、参画予定の店舗を中心にポスターや卓上 P O P 等を掲示し、地域の一体感を演出した発信を展開 ・県内外へは、SNS やメディア、情報誌等において、CM 放映や特集記事を広く配信

- ・スポットの取組

時期	場所	内容
R7. 9. 13	宮島口 しゃもじ広場	導入開始のお披露目イベントを開催し、情報発信を展開。 ・参画する店舗の P R ブース ・導入する飲料カップ等を用いた飲食ブース
R7. 10 頃	宮島口周辺	清掃活動を通じて、モデル地区の取組を発信

※その他、市や他団体が企画するイベントへのブース出展等、情報発信を随時展開。

イ リーディングプロジェクト支援補助金

○ 趣旨

ワンウェイプラスチックの削減、プラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R（リデュース・リユース・リサイクル）及びリニューアブルの拡大・高度化等、生活由来の海洋プラスチック対策に資する先進的な取組を推進するため、令和4年度からリーディングプロジェクト支援補助金事業を実施している。令和7年度は1件を採択し、次のとおり取組を進めている。【補助率1/2、上限3,000千円/件】

○ 採択事業の概要

・採択者名：三菱ケミカル株式会社

・事業概要：「飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築」

令和4年度より、回収したラベルの素材選別の精度向上に係る技術開発や、脱墨・リサイクル技術の確立、ペットボトルの3分別回収の定着に向けた啓発活動を実施。令和7年度は、啓発活動を継続するとともに、ペットボトルラベルの水平リサイクルの事業化に向けた検証を次のとおり実施予定。

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7.7～	大竹市、府中町、(株)フジシール、(株)高山商会、(一社)全国清涼飲料連合会、(株)マルシン、(株)イズミ、マツダ(株) 等	・大竹市内小学校や府中町公共施設での出前授業を通じた、分別回収・水平リサイクルの啓発（R7.8～） ・大竹市及び府中町内の事業所等における回収の実施（R7.10～） ・流通店舗で回収したラベルを対象に、選別処理までの行程を確認（R7.10～） ・ポリスチレン及びポリプロピレン製ラベルの水平リサイクル技術の検証（R7.10～）

(2) 流出防止の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7.4～ (R5年度からの継続事業)	広島大学、広島市、調査会社	○広島大学との微細マイクロプラスチックに係る共同研究（採水～前処理～分析における各方法を確立） ○マイクロプラスチック実態調査（R7.11実施予定）
R7.9～	環境省、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)サンフレッチェ広島 等	○ペットボトルの3分別回収に係る消費者の理解と行動変容を促すため、スポーツチーム等と連携し、スタジアムを基点とした啓発キャンペーンを実施するとともに、分別状況の変化などを検証

(3) 清掃・回収

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7.7.5	瀬戸内オーシャンズX、広島県漁業協同組合連合会	○広島・岡山・愛媛・香川の4県各地において、同日同時時間帯に一斉清掃を開催 ○広島は、江田島市の海岸において、GSHIP 参画会員と連携した清掃を実施
R7.6～	GSHIP参画会員、(公財)広島県環境保健協会、せとうち海援隊、公衆衛生協会 等	○参画会員と地域の清掃団体・市町等の清掃活動とのマッチング、清掃活動情報の一覧化及びHP等での発信
R7.11.1 R7.11.2	GSHIP参画会員	○GSHIP参画会員等と連携した海岸清掃の実施 ・廿日市市 宮島 大江浦海岸（11.1） ・江田島市 三高港周辺（11.2）

R7.3～R8.2	(株)フィッシュフレンズ、瀬戸内オーシャンズX	○釣り人をターゲットとした海ごみ回収促進事業の実施（海底・海岸清掃、海ごみ写真のオンライン投稿による海ごみの種別・数量等の解析 等）
-----------	-------------------------	--

(4) 情報発信等の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R7.6.21	日栄新化(株)、(株)そごう・西武 そごう広島店等	○「環境の日ひろしま大会」に、GSHIPキャラクタータコひめの帽子工作や海ごみ学習ブースを出展
R7.6.17 ～ 6.29	(株)そごう・西武 そごう広島店、(株)カネカ、(株)ヤマサキ、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株)	○そごう広島店で開催された、広島の問題を一緒に考え未来につなぐ企画「海と山の恵」において、プラスチックの使用量削減に係る取組、GSHIP参画会員の取組等を紹介
R7.9.24～	サッポロビール(株)、(株)中国放送、瀬戸内オーシャンズX	○瀬戸内海の海洋ごみ削減に向けた機運醸成及び意識啓発を目的とする、サッポロ生ビール黒ラベル「瀬戸内海環境保全応援缶（第3弾）」の展開

4 今後の対応

- プラスチックの使用量削減に繋がるリーディングプロジェクトの創出やプラスチックごみの流出防止の実証、清掃活動の取組について、引き続き、国・市町・企業等と連携しながら、事業者への積極的なフォローアップ等を行い、着実に実施していく。
- また、更なる取組の拡大に向けて、新たに開始する社会実装化促進事業については、地元の市や関係団体等との連携の下、GSHIP参画会員と協力しながら、プラスチック代替製品の円滑な導入を進め、県内外への効果的な情報発信を通じて、事業者の取組拡大と県民の意識醸成に繋げていく。

5 その他（取組の一例）

■プラスチック使用量削減の取組（実装化促進事業（宮島口・宮島））



取組のキービジュアル



＜アルミボトル缶＞



＜飲料カップ＞



＜歯ブラシ＞

導入する代替素材製品



啓発ポスター



P R動画



9/13（土）から代替素材カップでの提供が始まった商品の一例

■清掃・回収（瀬戸内オーシャンズX4県一斉清掃（江田島））



清掃活動の様子



清掃活動実施後の集合写真

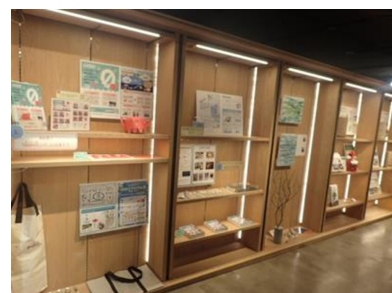
■情報発信の取組（「環境の日」ひろしま大会等での啓発）



＜環境の日ひろしま大会＞
GSHIP キャラクタータコひめの帽子
工作体験



＜環境の日ひろしま大会＞
海岸のごみと海洋プラスチックを学べる
紙芝居と標本を展示



＜そごう広島店「ヒロシマルシェット」＞
GSHIP の活動や会員が開発した製品を展示